

昭和60年11月14日発行

No.50

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
07248-3-4653

“
鬪魂”
66

会長 遠健三

この言葉が私は余り好きではない。何故か、身の保全を考えて何時も時でも、どうである様にふつ到りまよ走った事がない。何時も走った後、もう一回走って来ても同じだ。何をうも一度行ってこようかと、私が冗談によく言うが、私は私達のランニング大会は、遊びだ。祭りだとしか考へてない。私が違う心身の鍛錬だと思ひ、る人が、あると思ひますが、常日頃のジョギングは私はもうだと思ひ、したが、大会となると、これは、遊びだと思ひ、闘魂など思ひた事がない。今回が、違う。私はどうしても入賞したい、二位までに入りたい。それは社団法人青年交友協会が主催する「から書き大会」です。大阪—京都三十三キロの長い距離を飲まず食はずして跨ぎ歩く事です。七月二日、午前八時集合とお正八時に集合場所である新淀川大橋に行きました。そこにはもう二十人位集まつてあります。こう言つたなうが、なんですが、歩く事

にして、ヤツケを着てる人、厚着の人、おかしな靴を履いてる人、えなづ私の相手ではない。いざやうえ三一などを履いてる人、そして薄着の人は競走相手である。私は闘争心漫々だ。スタートの時間が迫つて来た。五三六人参加との主催者登壇、そして、諸先生より、午前九時、太鼓の合図と共にスタートする。最初の十キロ半では主催者のペース五キロ一時間、十キロ二時間である。午前十時四十分と矢トナキロを走った。さあ、太鼓が鳴った。ゴーである。早くも三千人程飛び出す。絶対に走つてはなう、たゞに走つてゐる。どうせ最後まではもたないであろう。私はギロセ金へえて歩く。決調そのもの。十五キロ地点通過、オニフをクドボントの二十六キロ地点にさしかかる。私はトマヤエリオニ集団である。トマフは僕かに一人、オニ集団は五人である。これまで行けば、私は九位か十位以内に入れる。後の集団は遙か後方である。二、三十九位は競走相手は他人でなく、自分自身である。私は過去に十六位位在二三位、三、四、五位、二十六位である。三、五位の時は、二十九位は競走相手は他人でなく、自分自身である。私は過去に十六位位在二三位、三、四、五位、二十六位である。三、五位の時は、二十九位も一秒の差である。戦いが終つた。胸は、体的よりも精神的に疲労した。これを口に上げる。四位であった。三位、四位、五位の差は、二十九位も一秒の差である。戦いが終つた。胸は精神的にリラックスするのに調度よかったです。今日は追風、あんたならず、相当な記録ができると思います。反省点として長距離のレースは気力、体力だけでは駄目である。走り方、歩き方に工夫を要する。又、栄養のとり方、心の持ち方も大事であると痛感しました。

御知らせ

一、例会日について

1. 十月十七日、新家、食館、午前九時集合

四コマス 比較と相談して決める。

八、案件 泉南ミニマラソン参加について打合せ

二、休会日にについて

十二月一日は、オーリー例会になつておりますが、泉南市ミニマラソン大会に、泉南走ろう会より多數参加されますので、二日は休会としよす。

三、ハイキーニングについて

オーリー例会日は、休会でしたので、さりげりとはなんですが、ハイキーニングを次の要項によつて行ないます。御参考下さる。

イ、期日、十二月八日(日)雨天中止(小雨でも中止、足場のため)

ロ、集合場所・時間 新家駅 午前九時十分

ハ、コース、墓の谷から雲山峰へ(十七K約三時間)

チ、谷駅(銀閣寺)墓の谷、雲山峰、四谷山

山中駅(山中湖駅)

ド、銀閣寺、峰、コース分歧点(山中湖駅)

ト、新家駅

二、服装及び持ち物

簡単な登山の服装、トレーニング用アドモ可、ただし、頂上が寒いので、防寒着が必要。また、水筒、雨具、手袋、帽子、運動靴可。

泉南ミニマラソン

四、ブルマラソンについて

来年三月九日、奈良明日香ひなマラソン

古川マラソンが開催されます

走ろう会エントリに参加を予定しております。

今から練習を行って下さい。

走ろう会エントリに参加を予定しております。

今から練習を行って下さい。

一〇二〇二二一

。十月三日 遠のヨシくわづから木ま大
会大阪→京都ミニマラソンに参加。五三文中
四位入賞(阿来)

。十一月四日、オ三回吉野川二十キロ、ロード
レースに栗野原えみ参加。好不利にて
完走(立派)

。十一月十日、紀州路マラソン全国大会に
走ろう会より七名参加(面白かった)

。十一月二十四日、小豆島ブルマラソン大会に
走ろう会より七名参加(面白かった)

。十一月二十四日、小豆島ブルマラソン大会に
走ろう会より七名参加(面白かった)